

『き だい しょう らん 熙代勝覧』絵巻



『き だい しょう らん 熙代勝覧』絵巻とは

今から約200年前、文化2年(1805)の江戸の、日本橋から今川橋までの大通り(現在の中央通り)を東側から俯瞰描写した作品です。原画は、ベルリン国立アジア美術館に所蔵されています。温かみを感じさせる情景と細かい筆致の優れた作品ですが、残念ながら絵師は不明。作品には88軒の間屋や店、1671人の身分も職もさまざまな人々や、犬20匹、馬13頭、牛4頭、猿1匹、鷹2羽などが生き生きと描かれ、興味深いシーンが次々と展開されています。絵巻のタイトル「熙代勝覧」は「熙ける御代の勝れたる大江戸の景観」という意でしょうか。さながら私たちを現代から江戸時代へとタイムスリップさせてくれます。

常設展示のご案内



名橋「日本橋」保存会および日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会が「熙代勝覧」を日本橋の歴史・文化を後世に伝える貴重な作品と捉え、ベルリン国立アジア美術館から許可を得て、江戸東京博物館の全体監修のもと約17メートルにわたる複製絵巻を制作・設置いたしました。絵巻の絵画部分は原画を約1.4倍に拡大し、和紙に印刷し、また絵巻を囲うパネルには江戸時代の町人文化に関する解説を記載しています。今から200年ほど前の江戸一番の賑わいをじっくりご堪能いただければ幸いです。

● 設置場所: 東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅 地下コンコース壁面 (三越日本橋本店本館 地下中央口付近) 開設時間帯 4:40 ~ 24:30

水都・日本橋の船めぐり…「日本橋船着場」

全国に通じる五街道の起点となり、舟運でも栄えた日本橋。その繁栄振りは、豊かな江戸の象徴でした。現在、日本橋にある「日本橋船着場」からは、スカイツリーコース、お台場コース、神田川コースなどの周遊クルーズが発着しております。

